

メガネのお取扱説明書

このたびは、弊社のレンズをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用にあたっては、この説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いいただきますようお願いいたします。なお、この取扱説明書はいつでも読み直せるよう大切に保管してください。また、小さなお子様には保護者が読んで、わかるように説明してください。

2019年1月改訂

商品名				
素材	□プラスチック □ガラス □調光 □偏光 □その他()			
カラー	濃度	%	UVカット加工	□UV400 □UV3G □なし
カテゴリ	運転	□運転・路上使用不適合 □夜間運転・路上使用不適合		
度数	R	S	C	AX
	L	S	C	AX
ご購入日	年	月	日	受注(製造)番号()
ご購入店	TEL: () -			

お客様ご相談窓口

050-6861-3375






弊社のレンズについてのご相談は、ご購入店または右記ご相談窓口までご相談ください。

株式会社 アサヒオプティカル

〒916-0038


URL <http://www.asahi-lite.co.jp>

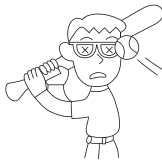
福井県鯖江市下河端町47-26

	警告	誤った取扱をした時に重傷、失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。	
	注意	誤った取扱をした時に傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。	
		一般的な注意が必要なことを示しています。	
	特定の行為の禁止を表します。		特定の行為の指示を表します。


警告

プラスチックレンズでも強い衝撃があれば破損します

 保護具と併用
サッカーや野球などの接触プレーのある激しいスポーツの際、ボールや硬いものがぶつかった場合、レンズが破損し破片で目や顔に重傷を負うことがあります。失明に至る場合もありますので、破損の可能性がある場合は、保護具(ゴーグルなど)と併用してください。



調光レンズ(フォトリミックレンズ)はトンネル内や夕暮れ時は危険です

 禁止
調光レンズは紫外線を受けると色が濃くなります。色が濃くなった状態から紫外線を遮断しますと色が淡くなります。濃くなった状態から淡くなるまで時間がかかります。トンネル内や屋内の駐車場などの暗い場所や、夕暮れ時の運転には不適合であり、場所によっては大変危険です。また、レンズの色が濃くなった状態で、トンネルや建物の中など暗い場所に入ると光量不足で視力が低下し危険です。




警告

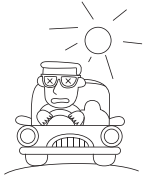
濃いカラーレンズでの運転又は路上での使用は危険です

トンネル内や夜間、夕暮れ時の運転又は路上での使用には不適合であり場合によっては光量不足で視力が低下し大変危険です。



夜間・夕暮れ時の運転又は路上での使用の禁止

 禁止
濃度およそ25%以上(視感透過率75%以下)では光量不足で視力が低下することがありますので使用しないで下さい。



運転又は路上での使用の禁止

濃度およそ92%以上(視感透過率8%以下)のレンズは、昼間でも光量不足で視力が低下し大変危険ですので運転又は路上では使用しないでください。



特殊カラーレンズでも運転の禁止



青、緑、赤などの鮮やかなカラーレンズは信号が見にくくなりますので運転等には使用しないでください。

太陽や強い光を直視しないでください



カラーレンズの濃淡や紫外線カットの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。目に重傷を負ったり、失明に至る場合もあります。



注意

特殊作業から目を守る保護機能は持っていません



本製品は視力を補正する為の普通のメガネレンズです。衝撃や溶接作業、特殊用途用紫外線、レーザー光線、X線などから目を守る保護機能は持っていません。

UVカットレンズのご注意



UVカット加工は、通常使用の状態での紫外線カットをする程度の加工で、業務用の紫外線保護メガネとしては使用できません。

注意

運転や操縦は、メガネに慣れてから行なってください。



見え方や使い方に慣れないうちの運転や操縦は距離感などがつかめず危険です。万一慣れない場合には購入店に改めてご相談ください。



保管時のご注意



メガネは、そのままの状態で大太陽光のある場所に置かないでください。凸レンズの場合、その集光作用により、周囲を焦がす恐れがあります。

⚠ 注意

偏光レンズを使用した運転でのご注意

禁止 偏光レンズをご使用の場合、自動車のフロントガラスが歪んで見える場合がございます。この場合には自動車の運転での使用はお止めください。

禁止 偏光レンズを超音波洗浄器等で水に漬けて洗わないで下さい。使用が困難になる可能性がございます。

! 液晶テレビ・カーナビ・携帯電話等の偏光板を使用した液晶画面では、画面を見る角度によっては見えない場合や、ひずみが見えることがありますのでご注意ください。

備考欄

メガネの正しい取り扱い方

! メガネの掛けはずしは、テンプル(つる)をきちんと持って、顔に添わせながら正面よりゆっくり行なってください。片方のみを持って無理に行なうと破損、変形、ゆるみの原因となります。



禁止 メガネを置くときは、レンズの凸面を上向きにして、置いてください。下向きにしますと、レンズにキズが入る原因になります。



! 持ち運ぶする際や使用しない場合は、手入れをしたうえで、メガネケースに入れてください。また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品等の入った場所に保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因になります。



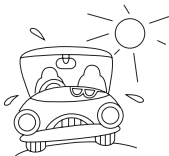
⚠ 注意

高温(60℃以上)でのご注意

禁止 高温(60℃以上)にさらされたり、急激な温度差にあうと、コート膜にヒビ割れを生じる原因となります。また、熱によって、レンズが変形して脱落したり、レンズの変形で度数が変化し、見え方に悪影響を及ぼす可能性があります。



- ・メガネを熱湯で洗ったり、ヘアードライヤーなどの熱風に当てないでください。又サウナでは使用しないでください。
- ・熱いアイロンや熱い油、ストーブなどの高温のものに近づけないでください。
- ・炎天下の車内は70℃～80℃近くになりますので、車内に放置しないでください。
- ・炎天下の砂浜は高温になりますので、メガネを放置しないでください。



⚠ 注意

累進屈折力レンズのご注意

慣れないうちはレンズの側方にゆれ、ゆがみを感じることがあります。その場合は視線の移動に注意し、ゆれ、ゆがみを感じない範囲でご使用ください。万一慣れない場合には、購入店に改めてご相談ください。階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)をご覧ください。車の運転時には、遠くから近くまであらゆる条件の視野が必要です。レンズに慣れてからにしてください。



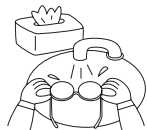
水ヤケの防止

! レンズが水に濡れたら、すぐに拭き取ってください。乾かしてしまおうと、水あとかシミのようになって取れなくなり、見えにくくなります。



お手入れのご注意

! レンズにゴミやホコリがついている時は、まず水洗いをしてからすぐ拭いて下さい。その場合、ティッシュペーパーや柔らかい布で軽く拭き取ってください。乾拭きしますと、キズの原因になります。



汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めた液で軽く洗い、水で良くすすぎます。あとはよく拭き取ってください。アルカリ系の洗剤(石鹸、ハンドソープ、ボディソープ等)は使用しないでください。

禁止 コート膜が劣化し、はがれる原因となります。カビ取り剤、薬剤(トイレ、浴用洗剤)やアルカリ系の洗剤、酸性洗剤、化粧品、整髪料、ヘアスプレー、油、レモンなどの果汁などがついた時は、すぐに水洗いをしてよく落として拭き取ってください。そのままにしておきますと、レンズにシミなどが残り、取れなくなったり、コート膜が剥がれたりします。

二重焦点・三重点レンズのご注意

遠用部と近用部の境目は急激に見え方が変わり遠近感をくわらせる恐れがあります。階段の昇り降り、段差のある場所で近用部(下部)を使用しますと、ピントが合いにくく危険です。レンズの遠用部(上部)をご覧ください。車の運転時には、遠くから近くまであらゆる条件の視野が必要です。レンズに慣れてからにしてください。

中近レンズ(室内用レンズ)のご注意

中近専用レンズは近くを見る専用のレンズであり、距離が離れるほど見にくくなります。乗り物の運転や操縦には絶対に使用しないでください。屋外作業やスポーツなどにも、使用しないでください。室内でも、階段の昇り降り、段差のある場所ではピントが合いにくいので、使用しないでください。

経年変化について

! 点検
メガネは、レンズ、フレームともに経年変化によって素材が劣化したり変色したりすることがあります。また、度数が合わなくなる場合もありますので、1年毎を目安に購入店で定期的に点検を受けてください。

